



【M-VAC療法について】

(メトトレキサート+エクザール+ドキシソルピシン+シスプラチン)



ID:

様

1

コース目

😊 **お薬の名前と治療のスケジュール** (副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前			作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日目	
グラニセロン注	吐き気止め	30分																																
メトトレキサート注	抗がん剤	30分																																
アロカリス注 パロノセロン注 デキサート注	アレルギー予防・ 吐き気止め	30分																																
エクザール注	抗がん剤	30分																																
ドキシソルピシン注	抗がん剤	30分			尿の色が赤くなることがあります。																													
ラシックス注	利尿剤	30分			腎臓を保護するため、たくさんの輸液を点滴します。 無理のない程度に水分補給をして、頻繁に尿を出しましょう。 																													
シスプラチン注	抗がん剤	2時間																																
マンニトール注	利尿剤	1時間																																



この週は
お休みです。

尿の色が赤くなることがあります。

腎臓を保護するため、たくさんの輸液を点滴します。
無理のない程度に水分補給をして、頻繁に尿を出しましょう。



😊 治療による副作用

注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日目
自覚症状	食欲不振・吐き気																													
		食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																												
	口内炎																													
		口の中が荒れて痛みが出る場合があります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかりと行いましょう。																												
	下痢																													
		便の回数が多くなったり強い腹痛をとまったり、水の様な便が出るときはお知らせ下さい。																												
発熱																														
	悪寒、発熱があるときはお知らせください。																													
脱毛(頭髮・まつ毛・眉毛など)																														
	髪質が少し変わることもあります、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																													
手足のしびれ																														
	手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出る場合があります。																													
検査値	白血球減少																													
		感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																												
	赤血球減少(貧血)																													
		貧血の症状(動作時の息切れ、動悸)がでたりします。転倒に注意しましょう。																												
	血小板減少																													
		出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																												
腎機能低下																														
	顔や手足のむくみ、尿が少ない・出ないなどの症状が出る場合があります。																													
肝機能低下																														
	体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなる場合があります。																													

心機能低下(治療回数が増えると生じることがあります。息苦しさなどがありましたらお知らせ下さい。)

- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。